様式３(2020.06改)

作成日　令和　２年　１２月　８日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393300047
事業所名	グループホームはっぴい

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	お祭りをはじめ行事が豊富にある地域に支えられ、これまでは利用者にとって楽しみの機会が沢山ありましたが、本年はことごとく中止となり、残念です。それでも読み聞かせと紙芝居のボランティアの皆さんは「やるか」「やならいか」を迷う中で、CDによる音源提供を申し出てくださり、現在音声のみですが利用者に和みの時間が提供されています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	偶数月の隔月開催を滞りなく実施していますが、２月からは書面開催に替えています。２ヶ月分の活動内容をまとめてメンバーに郵送、多くはないものの意見も集まっています。少しコロナが緩和したことから、６月のみ集会を再開しており、メンバーからは「感染症対策はどうしているか」「ストレスは溜まっていないか」等質問も上がり、事業所の説明を受けて安心した様子です。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	市役所からは「消毒液、マスク足りているか」「将来的に不足が見込まれるか」等、随時確認が入っています。また、コロナ禍の運営推進会議については、先ずは市役所に問い合わせたうえで、東三河広域連合・グループホーム協会・地域包括支援センター・ほいっぷネットワーク(市内の医療・福祉事業者のネットワークメール:任意加入)と多面的に情報を集め、総合的に判断して現状の方法に至っています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	家族からは「面会できないですよね」と問い合わせが入る日々で心苦しい状況ですが、６月頃は「マスクかけてなら～」と緩和対応もしており、状況をみて意向に沿えるよう改変していく予定です。現在は硝子越しで少し話をしてもらい、また利用者のストレスが溜まらないよう、足湯・カラオケ・体操などのほか、四季を感じる和菓子などを提供、生活に彩が加わるよう配慮しています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	○	○	○	×	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										